

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日～2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	日本円・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズで、通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないます。
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行ないます。
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。
組入制限	米ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行ないます。
分配方針	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とします。基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

－トリプル・リターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)

第48期 (決算日 2015年10月7日)
第49期 (決算日 2015年11月9日)
第50期 (決算日 2015年12月7日)
第51期 (決算日 2016年1月7日)
第52期 (決算日 2016年2月8日)
第53期 (決算日 2016年3月7日)
第28期 (決算日 2015年10月7日)
第29期 (決算日 2015年11月9日)
第30期 (決算日 2015年12月7日)
第31期 (決算日 2016年1月7日)
第32期 (決算日 2016年2月8日)
第33期 (決算日 2016年3月7日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプル・リターンズ－」は、さる3月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>
お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>
TEL 0120-106212 <3836>
(営業日9:00～17:00) <3837>
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5763>

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

★日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末(2013年10月7日)	10,187	90	0.7	14,489	2.1	0.0	99.2	4,580
25期末(2013年11月7日)	10,437	90	3.3	15,174	4.7	0.0	98.0	4,701
26期末(2013年12月9日)	10,559	90	2.0	15,471	2.0	0.0	98.7	4,312
27期末(2014年1月7日)	10,557	90	0.8	15,657	1.2	0.0	99.0	4,193
28期末(2014年2月7日)	10,164	90	△ 2.9	15,200	△ 2.9	0.0	98.8	3,741
29期末(2014年3月7日)	10,566	90	4.8	16,088	5.8	0.0	99.4	3,629
30期末(2014年4月7日)	10,719	90	2.3	15,985	△ 0.6	0.0	98.9	3,325
31期末(2014年5月7日)	10,720	90	0.8	16,008	0.1	0.0	98.8	3,251
32期末(2014年6月9日)	10,930	90	2.8	16,708	4.4	0.0	98.8	3,230
33期末(2014年7月7日)	10,947	90	1.0	17,017	1.8	0.0	98.9	3,127
34期末(2014年8月7日)	10,551	90	△ 2.8	16,458	△ 3.3	0.0	98.7	3,034
35期末(2014年9月8日)	10,893	90	4.1	17,208	4.6	0.0	99.5	3,046
36期末(2014年10月7日)	10,381	90	△ 3.9	16,840	△ 2.1	0.0	98.9	2,891
37期末(2014年11月7日)	10,378	90	0.8	17,409	3.4	0.0	98.0	2,906
38期末(2014年12月8日)	10,307	90	0.2	17,787	2.2	0.0	98.0	2,578
39期末(2015年1月7日)	9,825	90	△ 3.8	17,164	△ 3.5	0.0	99.0	2,553
40期末(2015年2月9日)	9,936	90	2.0	17,617	2.6	0.0	99.3	2,477
41期末(2015年3月9日)	9,788	90	△ 0.6	17,752	0.8	0.0	98.8	2,408
42期末(2015年4月7日)	9,582	90	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7	2,399
43期末(2015年5月7日)	9,870	90	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1	2,421
44期末(2015年6月8日)	9,645	90	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9	2,204
45期末(2015年7月7日)	9,175	90	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9	2,060
46期末(2015年8月7日)	8,870	90	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4	2,002
47期末(2015年9月7日)	8,140	90	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7	1,852
48期末(2015年10月7日)	8,306	90	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8	1,925
49期末(2015年11月9日)	8,525	90	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8	1,948
50期末(2015年12月7日)	8,429	90	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9	1,976
51期末(2016年1月7日)	7,941	90	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7	1,937
52期末(2016年2月8日)	7,472	90	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2	1,745
53期末(2016年3月7日)	7,844	90	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0	1,849

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

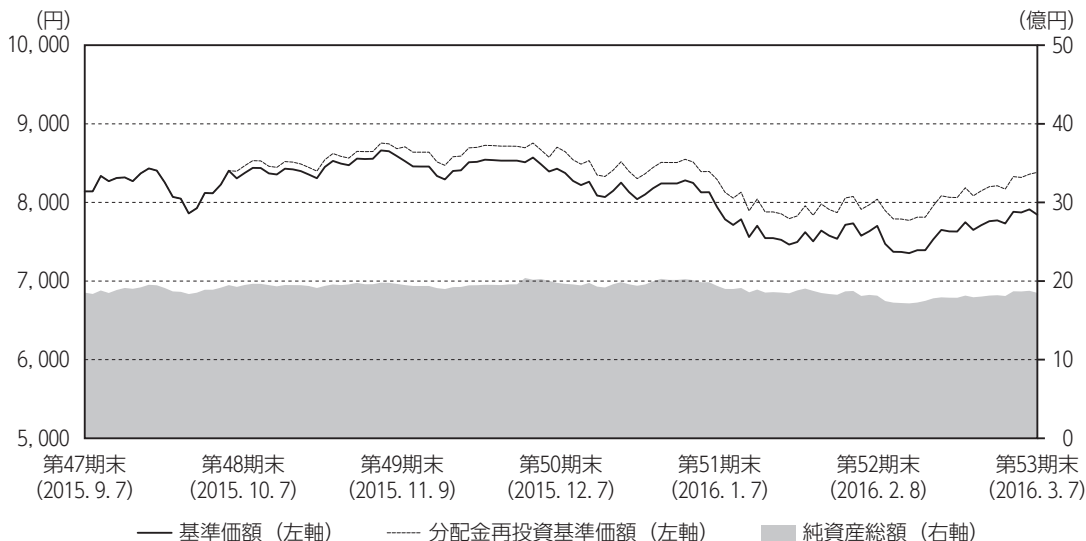
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第48期首：8,140円

第53期末：7,844円（既払分配金540円）

騰落率：3.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことが寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第48期	(期首) 2015年 9月 7日	円 8,140	% —	16,466	% —	% 0.0	% 96.7
	9月末	7,927	△ 2.6	16,148	△ 1.9	0.0	97.9
	(期末) 2015年10月 7日	8,396	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8
第49期	(期首) 2015年10月 7日	8,306	—	16,969	—	0.0	98.8
	10月末	8,553	3.0	17,908	5.5	0.0	99.0
	(期末) 2015年11月 9日	8,615	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8
第50期	(期首) 2015年11月 9日	8,525	—	17,992	—	0.0	98.8
	11月末	8,531	0.1	17,914	△ 0.4	0.0	98.5
	(期末) 2015年12月 7日	8,519	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9
第51期	(期首) 2015年12月 7日	8,429	—	17,927	—	0.0	98.9
	12月末	8,280	△ 1.8	17,813	△ 0.6	0.0	98.4
	(期末) 2016年 1月 7日	8,031	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7
第52期	(期首) 2016年 1月 7日	7,941	—	17,058	—	0.0	98.7
	1月末	7,538	△ 5.1	16,228	△ 4.9	0.0	98.8
	(期末) 2016年 2月 8日	7,562	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2
第53期	(期首) 2016年 2月 8日	7,472	—	16,113	—	0.0	99.2
	2月末	7,771	4.0	16,696	3.6	0.0	98.5
	(期末) 2016年 3月 7日	7,934	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第48期首より上昇して始まり、2015年10月に発表されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げに対する消極的な姿勢を示すものと受け止められたことなどから、さらに上昇しました。11月から12月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、2016年1月に入ると、中国景気に対する懸念や原油価格の急落を受けて下落しました。2月中旬から第53期末にかけては、原油産出4カ国の生産量維持の合意による原油価格の反発や、米国の景気に対する懸念が弱まったことなどを背景に上昇しました。

○短期金利市況

日本では、日銀が量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。なお、日銀は2016年1月末の金融政策決定会合でマイナス金利の導入を決定しました。一方、FRBは2015年12月のFOMCで政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないません。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

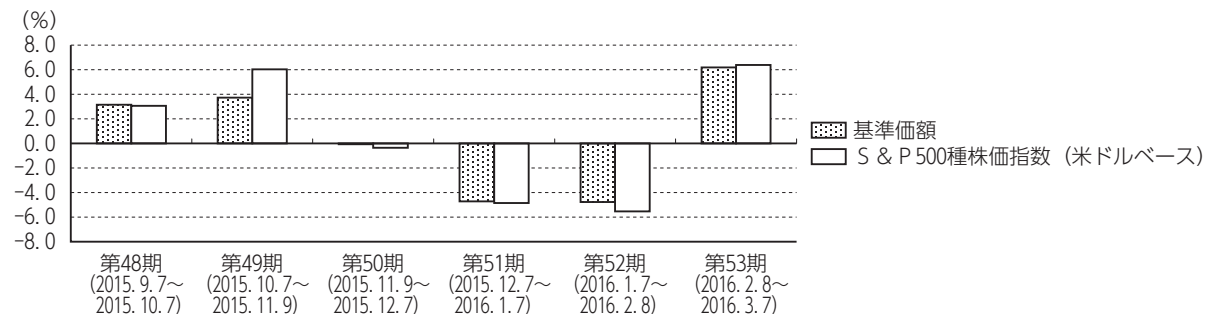
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第48期から第53期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2015年9月8日 ～2015年10月7日	2015年10月8日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月7日	2015年12月8日 ～2016年1月7日	2016年1月8日 ～2016年2月8日	2016年2月9日 ～2016年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（%）	1.07	1.04	1.06	1.12	1.19	1.13
当期の収益（円）	62	63	54	57	51	56
当期の収益以外（円）	27	26	35	32	38	33
翌期繰越分配対象額（円）	1,431	1,405	1,373	1,342	1,305	1,272

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	62.90円	63.27円	54.72円	57.42円	51.96円	56.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,314.71	1,317.11	1,326.40	1,330.94	1,332.87	1,306.63
(d) 分配準備積立金	143.52	114.67	82.37	44.04	10.97	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,521.14	1,495.06	1,463.49	1,432.40	1,395.81	1,362.75
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,431.14	1,405.06	1,373.49	1,342.40	1,305.81	1,272.75

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 8～2016. 3. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 099円です。
（投信会社）	(17)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(35)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0. 661	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

決算期	第 48 期 ～ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 3,456,433	千円 301,135	千口 2,716,885	千円 230,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 48 期			第 53 期			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	2,398,753	210,000	87	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	2,716,885	230,000	84

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第48期～第53期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第48期～第53期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

区 分	第 48 期 ～ 第 53 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 87,514	百万円 10,100	% 11.5	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,521,369	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	21,377.934	1,831,982	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月7日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,831,982	97.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	51,826	2.8
投資信託財産総額	1,883,943	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第47期末	第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月7日)、(2015年11月9日)、(2015年12月7日)、(2016年1月7日)、(2016年2月8日)、(2016年3月7日) 現在

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	1,956,844,825円	1,971,676,029円	2,036,936,129円	1,963,012,287円	1,809,486,322円	1,883,943,921円
コール・ローン等	54,567,394	46,269,426	82,250,306	51,063,575	77,995,131	51,826,403
投資信託受益証券 (評価額)	1,902,142,059	1,925,271,231	1,954,550,438	1,911,813,327	1,731,355,793	1,831,982,133
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,372	135,372	135,385	135,385	135,398	135,385
(B) 負債	31,135,217	22,935,420	60,260,802	25,147,515	64,348,444	34,379,427
未払収益分配金	20,865,535	20,572,243	21,104,948	21,963,410	21,019,100	21,220,484
未払解約金	8,199,533	6,032	37,138,336	908,637	41,106,223	11,270,943
未払信託報酬	2,057,566	2,330,314	1,978,586	2,222,944	2,157,404	1,811,211
その他未払費用	12,583	26,831	38,932	52,524	65,717	76,789
(C) 純資産総額 (A－B)	1,925,709,608	1,948,740,609	1,976,675,327	1,937,864,772	1,745,137,878	1,849,564,494
元本	2,318,392,788	2,285,804,878	2,344,994,250	2,440,378,959	2,335,455,596	2,357,831,631
次期繰越損益金	△ 392,683,180	△ 337,064,269	△ 368,318,923	△ 502,514,187	△ 590,317,718	△ 508,267,137
(D) 受益権総口数	2,318,392,788□	2,285,804,878□	2,344,994,250□	2,440,378,959□	2,335,455,596□	2,357,831,631□
1万口当り基準価額 (C/D)	8,306円	8,525円	8,429円	7,941円	7,472円	7,844円

* 第47期末における元本額は2,275,849,966円、当作成期間（第48期～第53期）中における追加設定元本額は701,930,918円、同解約元本額は619,949,253円です。

* 第53期末の計算口数当りの純資産額は7,844円です。

* 第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は508,267,137円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第48期 自 2015年9月8日 至 2015年10月7日 第50期 自 2015年11月10日 至 2015年12月7日 第52期 自 2016年1月8日 至 2016年2月8日
 第49期 自 2015年10月8日 至 2015年11月9日 第51期 自 2015年12月8日 至 2016年1月7日 第53期 自 2016年2月9日 至 2016年3月7日

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	15, 109, 169円	14, 945, 376円	14, 822, 905円	16, 249, 267円	14, 306, 853円	13, 453, 475円
受取配当金	15, 106, 676	14, 943, 577	14, 820, 359	16, 246, 653	14, 304, 441	13, 452, 984
受取利息	2, 493	1, 799	2, 546	2, 614	2, 412	491
(B) 有価証券売買損益	44, 332, 861	57, 650, 447	△ 14, 475, 370	△ 107, 468, 338	△ 97, 422, 640	96, 595, 548
売買益	45, 075, 912	57, 943, 849	1, 174, 602	1, 429, 659	7, 372, 418	97, 159, 910
売買損	△ 743, 051	△ 293, 402	△ 15, 649, 972	△ 108, 897, 997	△ 104, 795, 058	△ 564, 362
(C) 信託報酬等	△ 2, 070, 149	△ 2, 344, 562	△ 1, 990, 687	△ 2, 236, 536	△ 2, 170, 597	△ 1, 822, 283
(D) 当期損益金 (A + B + C)	57, 371, 881	70, 251, 261	△ 1, 643, 152	△ 93, 455, 607	△ 85, 286, 384	108, 226, 740
(E) 前期繰越損益金	△ 438, 755, 299	△ 390, 617, 046	△ 327, 613, 755	△ 340, 955, 718	△ 418, 073, 699	△ 505, 415, 990
(F) 追加信託差損益金	9, 565, 773	3, 873, 759	△ 17, 957, 068	△ 46, 139, 452	△ 65, 938, 535	△ 89, 857, 403
(配当等相当額)	(304, 802, 361)	(301, 067, 574)	(311, 040, 330)	(324, 800, 389)	(311, 288, 006)	(308, 083, 492)
(売買損益相当額)	(△ 295, 236, 588)	(△ 297, 193, 815)	(△ 328, 997, 398)	(△ 370, 939, 841)	(△ 377, 226, 541)	(△ 397, 940, 895)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 371, 817, 645	△ 316, 492, 026	△ 347, 213, 975	△ 480, 550, 777	△ 569, 298, 618	△ 487, 046, 653
(H) 収益分配金	△ 20, 865, 535	△ 20, 572, 243	△ 21, 104, 948	△ 21, 963, 410	△ 21, 019, 100	△ 21, 220, 484
次期繰越損益金 (G + H)	△ 392, 683, 180	△ 337, 064, 269	△ 368, 318, 923	△ 502, 514, 187	△ 590, 317, 718	△ 508, 267, 137
追加信託差損益金	9, 565, 773	3, 873, 759	△ 17, 957, 068	△ 46, 139, 452	△ 72, 259, 090	△ 97, 847, 095
(配当等相当額)	(304, 802, 361)	(301, 067, 574)	(311, 040, 330)	(324, 800, 389)	(304, 967, 451)	(300, 093, 800)
(売買損益相当額)	(△ 295, 236, 588)	(△ 297, 193, 815)	(△ 328, 997, 398)	(△ 370, 939, 841)	(△ 377, 226, 541)	(△ 397, 940, 895)
分配準備積立金	26, 992, 741	20, 102, 574	11, 044, 211	2, 797, 029	—	—
繰越損益金	△ 429, 241, 694	△ 361, 040, 602	△ 361, 406, 066	△ 459, 171, 764	△ 518, 058, 628	△ 410, 420, 042

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	14, 582, 938円	14, 462, 631円	12, 832, 220円	14, 012, 732円	12, 136, 256円	13, 230, 792円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	304, 802, 361	301, 067, 574	311, 040, 330	324, 800, 389	311, 288, 006	308, 083, 492
(d) 分配準備積立金	33, 275, 338	26, 212, 186	19, 316, 939	10, 747, 707	2, 562, 289	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	352, 660, 637	341, 742, 391	343, 189, 489	349, 560, 828	325, 986, 551	321, 314, 284
(f) 分配金	20, 865, 535	20, 572, 243	21, 104, 948	21, 963, 410	21, 019, 100	21, 220, 484
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	331, 795, 102	321, 170, 148	322, 084, 541	327, 597, 418	304, 967, 451	300, 093, 800
(h) 受益権総口数	2, 318, 392, 788口	2, 285, 804, 878口	2, 344, 994, 250口	2, 440, 378, 959口	2, 335, 455, 596口	2, 357, 831, 631口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	90円	90円	90円	90円	90円	90円
（単 価）	(8, 306円)	(8, 525円)	(8, 429円)	(7, 941円)	(7, 472円)	(7, 844円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

★豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
24期末(2013年10月7日)	11,636	200	1.8	14,489	2.1	91.86	0.4	0.0	98.4	14,275
25期末(2013年11月7日)	12,117	200	5.9	15,174	4.7	93.46	1.7	0.0	98.4	15,137
26期末(2013年12月9日)	12,101	200	1.5	15,471	2.0	93.86	0.4	0.0	99.3	15,091
27期末(2014年1月7日)	12,053	200	1.3	15,657	1.2	93.29	△ 0.6	0.0	99.0	15,283
28期末(2014年2月7日)	11,227	200	△ 5.2	15,200	△ 2.9	91.46	△ 2.0	0.0	98.5	14,147
29期末(2014年3月7日)	11,865	200	7.5	16,088	5.8	93.60	2.3	0.0	99.0	15,042
30期末(2014年4月7日)	12,300	200	5.4	15,985	△ 0.6	95.82	2.4	0.0	99.0	15,319
31期末(2014年5月7日)	12,029	200	△ 0.6	16,008	0.1	94.98	△ 0.9	0.0	98.4	14,786
32期末(2014年6月9日)	12,309	200	4.0	16,708	4.4	95.77	0.8	0.0	98.7	15,860
33期末(2014年7月7日)	12,241	200	1.1	17,017	1.8	95.56	△ 0.2	0.0	99.1	15,952
34期末(2014年8月7日)	11,701	200	△ 2.8	16,458	△ 3.3	95.50	△ 0.1	0.0	98.8	15,461
35期末(2014年9月8日)	12,354	200	7.3	17,208	4.6	98.39	3.0	0.0	98.2	16,877
36期末(2014年10月7日)	11,375	200	△ 6.3	16,840	△ 2.1	95.44	△ 3.0	0.0	98.6	15,542
37期末(2014年11月7日)	11,689	200	4.5	17,409	3.4	98.59	3.3	0.0	98.0	16,212
38期末(2014年12月8日)	11,859	200	3.2	17,787	2.2	101.00	2.4	0.0	98.6	16,626
39期末(2015年1月7日)	10,676	200	△ 8.3	17,164	△ 3.5	95.81	△ 5.1	0.0	98.6	15,002
40期末(2015年2月9日)	10,349	200	△ 1.2	17,617	2.6	92.16	△ 3.8	0.0	98.8	14,858
41期末(2015年3月9日)	10,196	200	0.5	17,752	0.8	93.07	1.0	0.0	99.1	14,587
42期末(2015年4月7日)	9,579	200	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0	14,353
43期末(2015年5月7日)	10,136	200	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4	15,611
44期末(2015年6月8日)	10,018	200	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5	15,384
45期末(2015年7月7日)	9,087	200	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0	13,474
46期末(2015年8月7日)	8,612	200	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9	12,753
47期末(2015年9月7日)	7,000	200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8	9,910
48期末(2015年10月7日)	7,339	150	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1	10,502
49期末(2015年11月9日)	7,550	150	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8	10,554
50期末(2015年12月7日)	7,732	150	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0	10,557
51期末(2016年1月7日)	6,691	150	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3	9,190
52期末(2016年2月8日)	6,138	150	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0	8,304
53期末(2016年3月7日)	6,497	150	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2	8,632

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

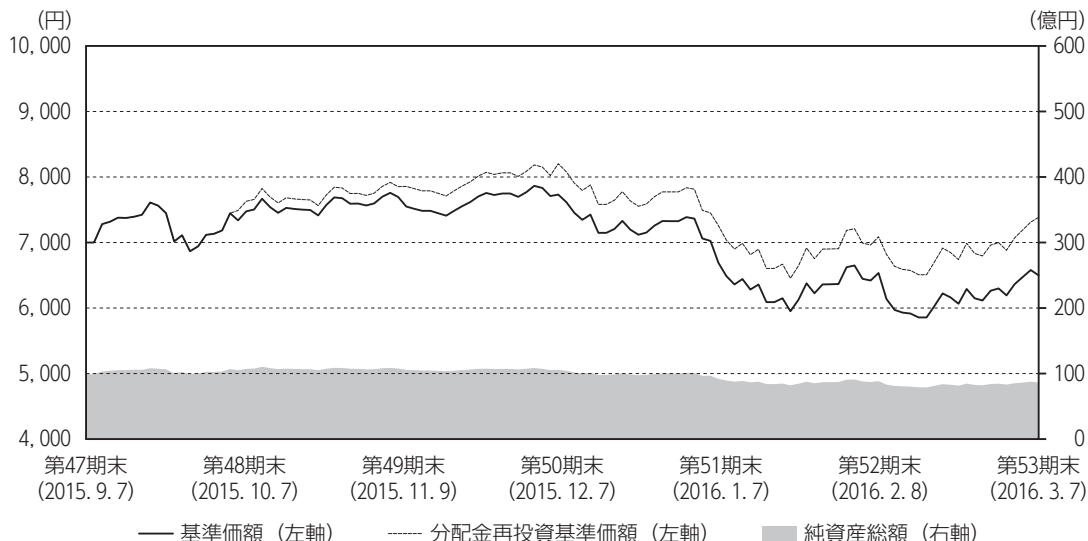
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



- 基準価額（左軸） - - - 分配金再投資基準価額（左軸） ■ 純資産総額（右軸）
- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第48期首：7,000円

第53期末：6,497円（既払分配金900円）

騰落率：5.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇したこと、また為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、値上がりしました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第48期	(期首) 2015年9月7日	7,000	—	16,466	—	82.55	—	0.0	98.8
	9月末	6,942	△ 0.8	16,148	△ 1.9	84.06	1.8	0.0	98.1
	(期末) 2015年10月7日	7,489	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1
第49期	(期首) 2015年10月7日	7,339	—	16,969	—	86.02	—	0.0	99.1
	10月末	7,565	3.1	17,908	5.5	85.97	△ 0.1	0.0	99.8
	(期末) 2015年11月9日	7,700	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8
第50期	(期首) 2015年11月9日	7,550	—	17,992	—	86.79	—	0.0	98.8
	11月末	7,696	1.9	17,914	△ 0.4	88.12	1.5	0.0	99.2
	(期末) 2015年12月7日	7,882	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0
第51期	(期首) 2015年12月7日	7,732	—	17,927	—	90.27	—	0.0	99.0
	12月末	7,387	△ 4.5	17,813	△ 0.6	87.92	△ 2.6	0.0	98.9
	(期末) 2016年1月7日	6,841	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3
第52期	(期首) 2016年1月7日	6,691	—	17,058	—	83.94	—	0.0	98.3
	1月末	6,366	△ 4.9	16,228	△ 4.9	85.66	2.0	0.0	98.8
	(期末) 2016年2月8日	6,288	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0
第53期	(期首) 2016年2月8日	6,138	—	16,113	—	83.04	—	0.0	99.0
	2月末	6,298	2.6	16,696	3.6	80.95	△ 2.5	0.0	98.9
	(期末) 2016年3月7日	6,647	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第48期首より上昇して始まり、2015年10月に発表されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げに対する消極的な姿勢を示すものと受け止められたことなどから、さらに上昇しました。11月から12月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、2016年1月に入ると、中国景気に対する懸念や原油価格の急落を受けて下落しました。2月中旬から第53期末にかけては、原油産出4カ国の生産量維持の合意による原油価格の反発や、米国の景気に対する懸念が弱まったことなどを背景に上昇しました。

○為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。当作成期間の前半は、2015年11月上旬に実施されたRBA（オーストラリア準備銀行）の金融政策決定会合で、市場の一部に利下げ観測もあった中で政策金利の現状据え置きが発表されたことなどから、豪ドルの対円レートは上昇しました。しかし2016年1月上旬に入ると、中国で市場予想を下回る製造業PMI（購買担当者指数）が発表されたことから同国の株式市況が急落し、世界的にリスク回避姿勢が強まって豪ドルも下落しました。2月には、原油価格が下げ幅を広げたことで再び下落しましたが、3月に入るとオーストラリア国内で発表された良好な経済指標などを受けて反発しました。

○短期金利市況

RBAは政策金利を2.00%で据え置きました。一方、FRBは2015年12月のFOMCで政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発し

た株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

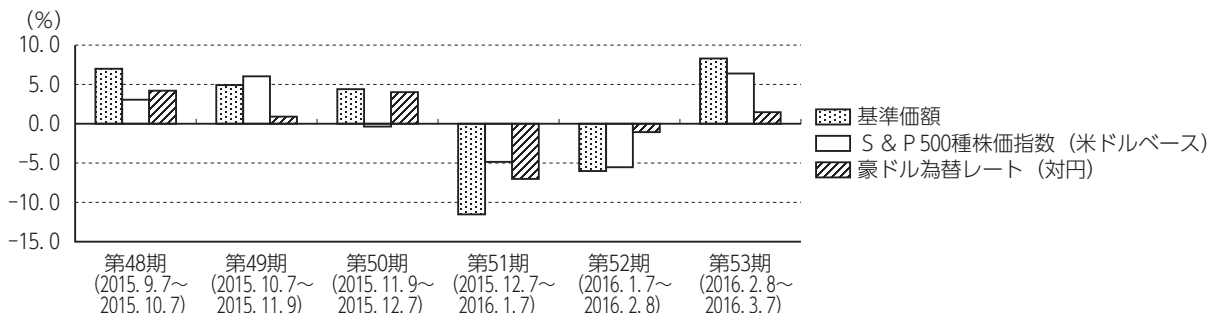
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第48期から第53期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ150円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2015年9月8日 ～2015年10月7日	2015年10月8日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月7日	2015年12月8日 ～2016年1月7日	2016年1月8日 ～2016年2月8日	2016年2月9日 ～2016年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	150	150	150	150	150	150
対基準価額比率（%）	2.00	1.95	1.90	2.19	2.39	2.26
当期の収益（円）	70	68	72	64	57	57
当期の収益以外（円）	79	81	77	85	92	92
翌期繰越分配対象額（円）	2,235	2,154	2,077	1,991	1,899	1,806

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	70.70円	68.84円	72.31円	64.04円	57.57円	57.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,315.06	2,235.86	2,154.80	2,077.76	1,992.09	1,899.72
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,385.77	2,304.70	2,227.11	2,141.81	2,049.66	1,956.83
(f) 分配金	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,235.77	2,154.70	2,077.11	1,991.81	1,899.66	1,806.83

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 8～2016. 3. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	46円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7, 037円です。
（投信会社）	(15)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(30)	(0. 430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0. 661	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－豪ドル・コース（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

決算期	第 48 期 ～ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 8,360,217	千円 784,397	千口 21,339,914	千円 2,070,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 48 期			第 53 期			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	2,332,513	210,000	90	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	21,339,914	2,070,000	97

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第48期～第53期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第48期～第53期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

区 分	第 48 期 ～ 第 53 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 87,514	百万円 10,100	% 11.5	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,521,369	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) – トリプル・リターンズー豪ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	91,634.925	8,563,008	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月7日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,563,008	96.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	336,796	3.8
投資信託財産総額	8,900,460	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 53 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	655

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月7日)、(2015年11月9日)、(2015年12月7日)、(2016年1月7日)、(2016年2月8日)、(2016年3月7日) 現在

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	10,770,125,867円	10,812,158,766円	10,885,621,365円	9,416,623,637円	8,590,974,061円	8,900,460,843円
コール・ローン等	361,299,100	379,597,075	433,530,727	382,892,143	371,180,009	336,796,051
投資信託受益証券 (評価額)	10,408,170,966	10,431,905,890	10,451,434,772	9,033,075,628	8,219,138,122	8,563,008,926
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,801	655,801	655,866	655,866	655,930	655,866
(B) 負債	267,905,906	257,943,216	327,754,618	225,952,579	286,553,206	267,623,984
未払収益分配金	214,659,832	209,695,072	204,810,328	206,024,018	202,939,631	199,310,212
未払解約金	41,902,187	35,304,465	112,005,831	8,452,398	73,181,583	59,529,915
未払信託報酬	11,274,868	12,796,331	10,725,460	11,194,641	10,088,717	8,389,232
その他未払費用	69,019	147,348	212,999	281,522	343,275	394,625
(C) 純資産総額 (A - B)	10,502,219,961	10,554,215,550	10,557,866,747	9,190,671,058	8,304,420,855	8,632,836,859
元本	14,310,655,491	13,979,671,531	13,654,021,873	13,734,934,580	13,529,308,759	13,287,347,522
次期繰越損益金	△ 3,808,435,530	△ 3,425,455,981	△ 3,096,155,126	△ 4,544,263,522	△ 5,224,887,904	△ 4,654,510,663
(D) 受益権総口数	14,310,655,491口	13,979,671,531口	13,654,021,873口	13,734,934,580口	13,529,308,759口	13,287,347,522口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,339円	7,550円	7,732円	6,691円	6,138円	6,497円

* 第47期末における元本額は14,157,086,211円、当作成期間 (第48期～第53期) 中における追加設定元本額は1,330,181,964円、同解約元本額は2,199,920,653円です。

* 第53期末の計算口数当りの純資産額は6,497円です。

* 第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,654,510,663円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-豪ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第48期 自 2015年9月8日 至 2015年10月7日 第50期 自 2015年11月10日 至 2015年12月7日 第52期 自 2016年1月8日 至 2016年2月8日
 第49期 自 2015年10月8日 至 2015年11月9日 第51期 自 2015年12月8日 至 2016年1月7日 第53期 自 2016年2月9日 至 2016年3月7日

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	102,868,120円	98,700,270円	101,084,176円	99,233,536円	88,043,746円	76,835,458円
受取配当金	102,855,967	98,693,323	101,077,690	99,225,327	88,035,408	76,833,515
受取利息	12,153	6,947	6,486	8,209	8,338	1,943
(B) 有価証券売買損益	591,628,558	417,164,280	363,588,653	△ 1,298,727,389	△ 620,552,817	607,889,973
売買益	601,071,948	423,189,080	367,622,872	8,634,971	12,099,902	609,773,680
売買損	△ 9,443,390	△ 6,024,800	△ 4,034,219	△ 1,307,362,360	△ 632,652,719	△ 1,883,707
(C) 信託報酬等	△ 11,343,887	△ 12,874,660	△ 10,791,111	△ 11,263,164	△ 10,150,470	△ 8,440,582
(D) 当期損益金 (A + B + C)	683,152,791	502,989,890	453,881,718	△ 1,210,757,017	△ 542,659,541	676,284,849
(E) 前期繰越損益金	△ 4,927,785,340	△ 4,206,605,007	△ 3,696,302,754	△ 3,287,870,402	△ 4,474,094,237	△ 4,972,441,832
(F) 追加信託差損益金	650,856,851	487,854,208	351,076,238	160,387,915	△ 5,194,495	△ 159,043,468
(配当等相当額)	(3,313,015,491)	(3,125,667,134)	(2,942,169,370)	(2,853,803,330)	(2,695,163,283)	(2,524,226,417)
(売買損益相当額)	(△ 2,662,158,640)	(△ 2,637,812,926)	(△ 2,591,093,132)	(△ 2,693,415,415)	(△ 2,700,357,778)	(△ 2,683,269,885)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,593,775,698	△ 3,215,760,909	△ 2,891,344,798	△ 4,338,239,504	△ 5,021,948,273	△ 4,455,200,451
(H) 収益分配金	△ 214,659,832	△ 209,695,072	△ 204,810,328	△ 206,024,018	△ 202,939,631	△ 199,310,212
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,808,435,530	△ 3,425,455,981	△ 3,096,155,126	△ 4,544,263,522	△ 5,224,887,904	△ 4,654,510,663
追加信託差損益金	537,385,121	374,396,504	245,003,036	42,334,284	△ 130,240,846	△ 282,465,259
(配当等相当額)	(3,199,543,761)	(3,012,209,430)	(2,836,096,168)	(2,735,749,699)	(2,570,116,932)	(2,400,804,626)
(売買損益相当額)	(△ 2,662,158,640)	(△ 2,637,812,926)	(△ 2,591,093,132)	(△ 2,693,415,415)	(△ 2,700,357,778)	(△ 2,683,269,885)
繰越損益金	△ 4,345,820,651	△ 3,799,852,485	△ 3,341,158,162	△ 4,586,597,806	△ 5,094,647,058	△ 4,372,045,404

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	101,188,102円	96,237,368円	98,737,126円	87,970,387円	77,893,280円	75,888,421円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,313,015,491	3,125,667,134	2,942,169,370	2,853,803,330	2,695,163,283	2,524,226,417
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,414,203,593	3,221,904,502	3,040,906,496	2,941,773,717	2,773,056,563	2,600,114,838
(f) 分配金	214,659,832	209,695,072	204,810,328	206,024,018	202,939,631	199,310,212
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,199,543,761	3,012,209,430	2,836,096,168	2,735,749,699	2,570,116,932	2,400,804,626
(h) 受益権総口数	14,310,655,491口	13,979,671,531口	13,654,021,873口	13,734,934,580口	13,529,308,759口	13,287,347,522口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	150円	150円	150円	150円	150円	150円
（単 価）	(7, 339円)	(7, 550円)	(7, 732円)	(6, 691円)	(6, 138円)	(6, 497円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
24期末(2013年10月7日)	9,146	200	3.6	14,489	2.1	43.98	1.8	0.0	98.3	171,680
25期末(2013年11月7日)	9,107	200	1.8	15,174	4.7	43.12	△ 2.0	0.0	98.2	178,581
26期末(2013年12月9日)	9,299	200	4.3	15,471	2.0	44.21	2.5	0.0	98.8	190,208
27期末(2014年1月7日)	9,234	200	1.5	15,657	1.2	43.88	△ 0.7	0.0	98.8	193,388
28期末(2014年2月7日)	8,569	200	△ 5.0	15,200	△ 2.9	42.84	△ 2.4	0.0	98.6	187,707
29期末(2014年3月7日)	9,208	200	9.8	16,088	5.8	44.36	3.5	0.0	98.5	207,762
30期末(2014年4月7日)	9,590	200	6.3	15,985	△ 0.6	46.17	4.1	0.0	98.8	220,950
31期末(2014年5月7日)	9,463	200	0.8	16,008	0.1	45.56	△ 1.3	0.0	98.3	222,281
32期末(2014年6月9日)	9,529	200	2.8	16,708	4.4	45.67	0.2	0.0	98.5	234,894
33期末(2014年7月7日)	9,508	200	1.9	17,017	1.8	46.18	1.1	0.0	98.5	242,479
34期末(2014年8月7日)	8,935	200	△ 3.9	16,458	△ 3.3	44.93	△ 2.7	0.0	98.0	239,840
35期末(2014年9月8日)	9,517	200	8.8	17,208	4.6	46.84	4.3	0.0	98.3	268,869
36期末(2014年10月7日)	8,734	200	△ 6.1	16,840	△ 2.1	44.90	△ 4.1	0.0	98.1	260,807
37期末(2014年11月7日)	8,639	200	1.2	17,409	3.4	44.79	△ 0.2	0.0	98.2	276,861
38期末(2014年12月8日)	8,840	200	4.6	17,787	2.2	46.97	4.9	0.0	98.4	300,293
39期末(2015年1月7日)	7,876	200	△ 8.6	17,164	△ 3.5	44.00	△ 6.3	0.0	98.1	280,073
40期末(2015年2月9日)	7,696	200	0.3	17,617	2.6	42.73	△ 2.9	0.0	98.4	289,140
41期末(2015年3月9日)	6,933	200	△ 7.3	17,752	0.8	39.41	△ 7.8	0.0	97.9	272,339
42期末(2015年4月7日)	6,391	200	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1	256,078
43期末(2015年5月7日)	6,841	150	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6	281,797
44期末(2015年6月8日)	6,664	150	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1	264,829
45期末(2015年7月7日)	6,210	150	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1	239,212
46期末(2015年8月7日)	5,384	150	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1	202,612
47期末(2015年9月7日)	4,309	150	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9	158,087
48期末(2015年10月7日)	4,319	100	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1	155,297
49期末(2015年11月9日)	4,542	100	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8	160,651
50期末(2015年12月7日)	4,577	100	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0	160,226
51期末(2016年1月7日)	3,857	100	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9	132,134
52期末(2016年2月8日)	3,630	100	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0	121,832
53期末(2016年3月7日)	3,871	100	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0	128,718

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

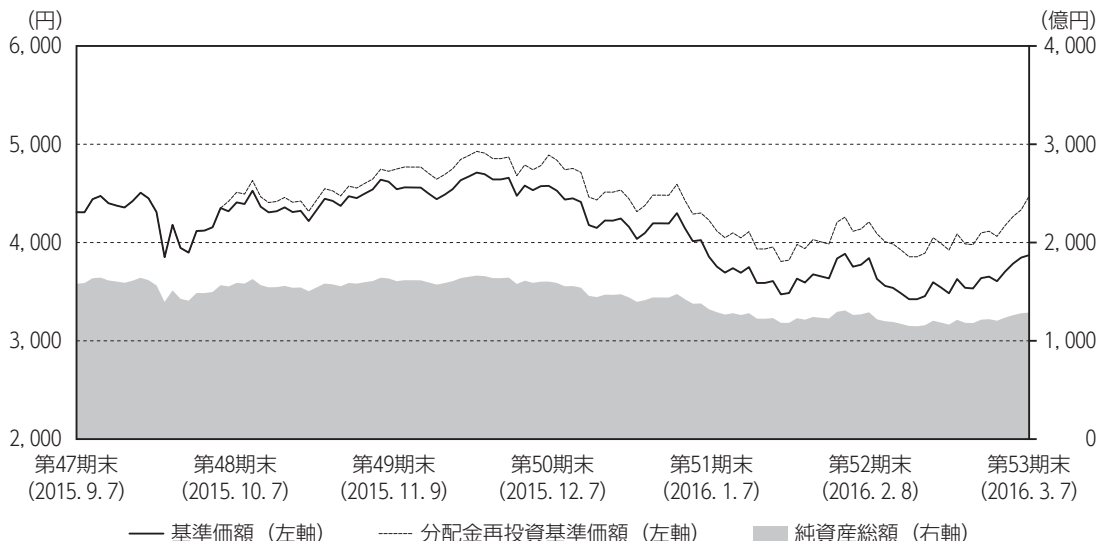
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第48期首：4,309円

第53期末：3,871円 (既払分配金600円)

騰落率：3.8% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、ブラジル・リアルが対円で下落したこととオプション取引はマイナス要因となりましたが、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) が寄与し、値上がりしました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第48期	(期首) 2015年9月7日	4,309	—	16,466	—	30.98	—	0.0	98.9
	9月末	3,897	△ 9.6	16,148	△ 1.9	29.53	△ 4.7	0.0	99.4
	(期末) 2015年10月7日	4,419	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1
第49期	(期首) 2015年10月7日	4,319	—	16,969	—	31.23	—	0.0	99.1
	10月末	4,452	3.1	17,908	5.5	31.39	0.5	0.0	99.4
	(期末) 2015年11月9日	4,642	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8
第50期	(期首) 2015年11月9日	4,542	—	17,992	—	32.72	—	0.0	98.8
	11月末	4,658	2.6	17,914	△ 0.4	31.93	△ 2.4	0.0	99.2
	(期末) 2015年12月7日	4,677	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0
第51期	(期首) 2015年12月7日	4,577	—	17,927	—	32.84	—	0.0	99.0
	12月末	4,299	△ 6.1	17,813	△ 0.6	31.18	△ 5.1	0.0	98.9
	(期末) 2016年1月7日	3,957	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9
第52期	(期首) 2016年1月7日	3,857	—	17,058	—	29.44	—	0.0	98.9
	1月末	3,635	△ 5.8	16,228	△ 4.9	29.70	0.9	0.0	99.2
	(期末) 2016年2月8日	3,730	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0
第53期	(期首) 2016年2月8日	3,630	—	16,113	—	29.95	—	0.0	99.0
	2月末	3,653	0.6	16,696	3.6	28.41	△ 5.1	0.0	99.1
	(期末) 2016年3月7日	3,971	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第48期首より上昇して始まり、2015年10月に発表されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げに対する消極的な姿勢を示すものと受け止められたことなどから、さらに上昇しました。11月から12月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、2016年1月に入ると、中国景気に対する懸念や原油価格の急落を受けて下落しました。2月中旬から第53期末にかけては、原油産出4カ国の生産量維持の合意による原油価格の反発や、米国の景気に対する懸念が弱まったことなどを背景に上昇しました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。第48期首から2015年11月にかけては、ブラジル国内での政治的な不透明感や米国における利上げに対する思惑をめぐり、振れ幅の大きな展開となりました。12月に入ると、原油をはじめとする商品相場が下落し、資源国通貨であるリアルは下落しました。2016年1月には、中国で市場の予想を下回る製造業PMI（購買担当者指数）が発表されたことから同国の株式市況が急落し、世界的にリスク回避姿勢が強まってリアルは続落しました。3月に入ると、原油価格の上昇などを背景に上昇に転じました。

○短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を14.25%で据え置きました。一方、FRBは2015年12月のFOMCで政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を

選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないました。

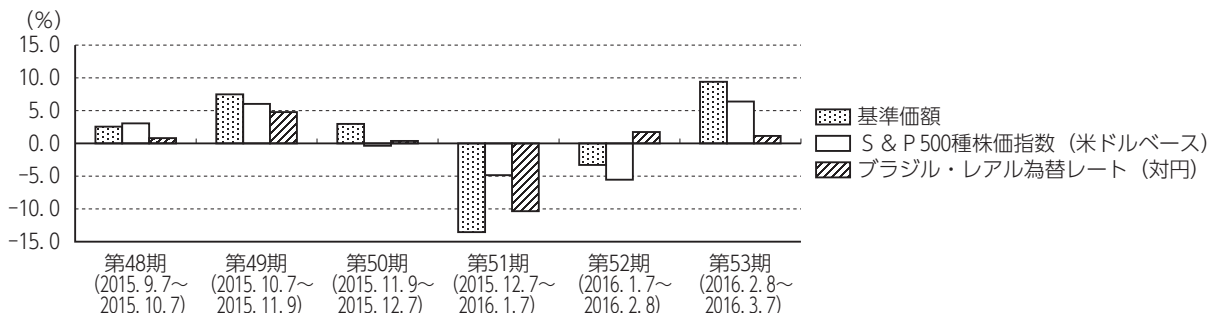
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第48期から第53期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2015年9月8日 ～2015年10月7日	2015年10月8日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月7日	2015年12月8日 ～2016年1月7日	2016年1月8日 ～2016年2月8日	2016年2月9日 ～2016年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	2.26	2.15	2.14	2.53	2.68	2.52
当期の収益（円）	86	77	89	76	67	70
当期の収益以外（円）	13	22	10	23	32	29
翌期繰越分配対象額（円）	1,772	1,750	1,739	1,717	1,684	1,655

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	86.44円	77.64円	89.22円	76.88円	67.59円	70.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,786.12	1,772.81	1,750.65	1,740.16	1,717.15	1,684.79
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,872.57	1,850.46	1,839.87	1,817.05	1,784.74	1,755.74
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,772.57	1,750.46	1,739.87	1,717.05	1,684.74	1,655.74

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 8～2016. 3. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	27円	0.656%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,124円です。
（投信会社）	(9)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(18)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	—	—	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	27	0.656	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2015年9月8日から2016年3月7日まで）

決算期	第 48 期 ～ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 （邦貨建）	千口 314,504.277	千円 17,065,651	千口 642,482.762	千円 35,200,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2015年9月8日から2016年3月7日まで）

買 付 銘 柄	第 48 期			第 53 期		
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	642,482.762	35,200,000	54			

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第48期～第53期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第48期～第53期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年9月8日から2016年3月7日まで）

区 分	第 48 期 ～ 第 53 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 87,514	百万円 10,100	% 11.5	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,521,369	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフান
ドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	2,391,305.153	127,439,825	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月7日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	127,439,825	96.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,488	0.0
コール・ローン等、その他	5,126,990	3.9
投資信託財産総額	132,571,304	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 53 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,488

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月7日)、(2015年11月9日)、(2015年12月7日)、(2016年1月7日)、(2016年2月8日)、(2016年3月7日) 現在

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	159,507,317,426円	164,769,557,943円	164,843,603,427円	136,072,252,343円	125,653,843,608円	132,571,304,783円
コール・ローン等	5,636,975,304	6,048,580,820	6,219,928,027	5,335,853,910	5,035,194,930	5,126,990,477
投資信託受益証券 (評価額)	153,865,853,798	158,716,488,799	158,619,186,636	130,731,909,669	120,614,159,473	127,439,825,542
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,488,324	4,488,324	4,488,764	4,488,764	4,489,205	4,488,764
(B) 負債	4,209,841,188	4,118,435,095	4,617,264,129	3,937,638,364	3,821,811,061	3,853,248,811
未払収益分配金	3,595,944,109	3,537,272,953	3,500,529,541	3,425,428,417	3,356,555,852	3,325,435,825
未払解約金	445,498,475	392,758,921	952,264,861	346,651,632	319,186,496	404,946,486
未払信託報酬	168,235,259	188,019,159	163,915,045	164,835,349	145,157,409	121,753,841
その他未払費用	163,345	384,062	554,682	722,966	911,304	1,112,659
(C) 純資産総額 (A - B)	155,297,476,238	160,651,122,848	160,226,339,298	132,134,613,979	121,832,032,547	128,718,055,972
元本	359,594,410,942	353,727,295,343	350,052,954,102	342,542,841,702	335,655,585,286	332,543,582,521
次期繰越損益金	△ 204,296,934,704	△ 193,076,172,495	△ 189,826,614,804	△ 210,408,227,723	△ 213,823,552,739	△ 203,825,526,549
(D) 受益権総口数	359,594,410,942口	353,727,295,343口	350,052,954,102口	342,542,841,702口	335,655,585,286口	332,543,582,521口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,319円	4,542円	4,577円	3,857円	3,630円	3,871円

*第47期末における元本額は366,910,170,946円、当作成期間(第48期~第53期)中における追加設定元本額は15,120,724,428円、同解約元本額は49,487,312,853円です。

*第53期末の計算口数当りの純資産額は3,871円です。

*第53期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は203,825,526,549円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第48期 自 2015年9月8日 至 2015年10月7日 第50期 自 2015年11月10日 至 2015年12月7日 第52期 自 2016年1月8日 至 2016年2月8日
 第49期 自 2015年10月8日 至 2015年11月9日 第51期 自 2015年12月8日 至 2016年1月7日 第53期 自 2016年2月9日 至 2016年3月7日

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	3,240,439,819円	2,791,967,807円	3,231,454,722円	2,798,809,760円	2,414,124,802円	2,384,870,107円
受取配当金	3,240,345,251	2,791,878,451	3,231,337,957	2,798,709,646	2,414,036,743	2,384,840,591
受取利息	94,568	89,356	116,765	100,114	88,059	29,516
(B) 有価証券売買損益	894,487,645	8,798,684,111	1,670,354,150	△ 23,797,488,986	△ 6,545,777,956	9,082,609,231
売買益	1,236,431,790	8,899,180,093	1,774,908,728	403,387,740	210,525,050	9,106,655,260
売買損	△ 341,944,145	△ 100,495,982	△ 104,554,578	△ 24,200,876,726	△ 6,756,303,006	△ 24,046,029
(C) 信託報酬等	△ 168,398,604	△ 188,239,876	△ 164,085,665	△ 165,003,633	△ 145,345,747	△ 121,955,196
(D) 当期損益金 (A + B + C)	3,966,528,860	11,402,412,042	4,737,723,207	△ 21,163,682,859	△ 4,276,998,901	11,345,524,142
(E) 前期繰越損益金	△ 141,799,782,388	△ 137,592,615,541	△ 126,694,026,222	△ 121,469,708,427	△ 141,431,924,897	△ 145,680,209,704
(F) 追加信託差損益金	△ 62,867,737,067	△ 63,348,696,043	△ 64,369,782,248	△ 64,349,408,020	△ 64,758,073,089	△ 66,165,405,162
(配当等相当額)	(64,228,115,722)	(62,709,464,177)	(61,282,188,901)	(59,608,037,037)	(57,637,277,815)	(56,026,784,423)
(売買損益相当額)	(△ 127,095,852,789)	(△ 126,058,160,220)	(△ 125,651,971,149)	(△ 123,957,445,057)	(△ 122,395,350,904)	(△ 122,192,189,585)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 200,700,990,595	△ 189,538,899,542	△ 186,326,085,263	△ 206,982,799,306	△ 210,466,996,887	△ 200,500,090,724
(H) 収益分配金	3,595,944,109	3,537,272,953	3,500,529,541	△ 3,425,428,417	△ 3,356,555,852	△ 3,325,435,825
次期繰越損益金 (G + H)	△ 204,296,934,704	△ 193,076,172,495	△ 189,826,614,804	△ 210,408,227,723	△ 213,823,552,739	△ 203,825,526,549
追加信託差損益金	△ 63,355,215,251	△ 64,139,348,021	△ 64,747,022,195	△ 65,141,030,195	△ 65,845,849,839	△ 67,131,337,597
(配当等相当額)	(63,740,637,538)	(61,918,812,199)	(60,904,948,954)	(58,816,414,862)	(56,549,501,065)	(55,060,851,988)
(売買損益相当額)	(△ 127,095,852,789)	(△ 126,058,160,220)	(△ 125,651,971,149)	(△ 123,957,445,057)	(△ 122,395,350,904)	(△ 122,192,189,585)
繰越損益金	△ 140,941,719,453	△ 128,936,824,474	△ 125,079,592,609	△ 145,267,197,528	△ 147,977,702,900	△ 136,694,188,952

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,108,465,925円	2,746,620,975円	3,123,289,594円	2,633,806,242円	2,268,779,102円	2,359,503,390円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	64,228,115,722	62,709,464,177	61,282,188,901	59,608,037,037	57,637,277,815	56,026,784,423
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	67,336,581,647	65,456,085,152	64,405,478,495	62,241,843,279	59,906,056,917	58,386,287,813
(f) 分配金	3,595,944,109	3,537,272,953	3,500,529,541	3,425,428,417	3,356,555,852	3,325,435,825
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	63,740,637,538	61,918,812,199	60,904,948,954	58,816,414,862	56,549,501,065	55,060,851,988
(h) 受益権総口数	359,594,410,942口	353,727,295,343口	350,052,954,102口	342,542,841,702口	335,655,585,286口	332,543,582,521口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
（単 価）	(4, 319円)	(4, 542円)	(4, 577円)	(3, 857円)	(3, 630円)	(3, 871円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
24期末(2013年10月7日)	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末(2013年10月7日)	13,227	90	△ 1.0	18,359	△ 0.3	0.0	98.7	3,108
25期末(2013年11月7日)	13,789	90	4.9	19,508	6.3	0.0	99.0	3,258
26期末(2013年12月9日)	14,546	90	6.1	20,776	6.5	0.0	98.7	3,587
27期末(2014年1月7日)	14,846	90	2.7	21,299	2.5	0.0	98.9	3,721
28期末(2014年2月7日)	13,977	90	△ 5.2	20,208	△ 5.1	0.0	98.6	3,808
29期末(2014年3月7日)	14,729	90	6.0	21,609	6.9	0.0	98.9	4,163
30期末(2014年4月7日)	15,029	90	2.6	21,494	△ 0.5	0.0	99.7	4,329
31期末(2014年5月7日)	14,873	90	△ 0.4	21,191	△ 1.4	0.0	98.9	4,142
32期末(2014年6月9日)	15,249	90	3.1	22,327	5.4	0.0	98.8	4,023
33期末(2014年7月7日)	15,260	90	0.7	22,659	1.5	0.0	99.4	3,844
34期末(2014年8月7日)	14,775	90	△ 2.6	21,909	△ 3.3	0.0	99.3	3,611
35期末(2014年9月8日)	15,665	90	6.6	23,561	7.5	0.0	98.7	3,678
36期末(2014年10月7日)	15,568	150	0.3	23,903	1.4	0.0	98.7	3,636
37期末(2014年11月7日)	16,302	150	5.7	26,099	9.2	0.0	96.1	4,333
38期末(2014年12月8日)	16,999	300	6.1	28,177	8.0	0.0	98.7	4,965
39期末(2015年1月7日)	15,720	300	△ 5.8	26,577	△ 5.7	0.0	96.7	6,754
40期末(2015年2月9日)	15,784	300	2.3	27,294	2.7	0.0	97.6	8,682
41期末(2015年3月9日)	15,682	300	1.3	27,927	2.3	0.0	97.3	10,839
42期末(2015年4月7日)	15,053	300	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2	15,292
43期末(2015年5月7日)	15,380	300	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7	16,658
44期末(2015年6月8日)	15,586	300	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8	16,531
45期末(2015年7月7日)	14,327	300	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7	15,810
46期末(2015年8月7日)	13,920	300	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9	15,460
47期末(2015年9月7日)	12,014	300	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1	13,838
48期末(2015年10月7日)	12,194	300	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6	14,448
49期末(2015年11月9日)	12,657	300	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7	15,997
50期末(2015年12月7日)	12,341	300	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7	16,213
51期末(2016年1月7日)	11,055	300	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2	15,525
52期末(2016年2月8日)	10,073	300	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2	14,784
53期末(2016年3月7日)	10,138	300	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6	15,137

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

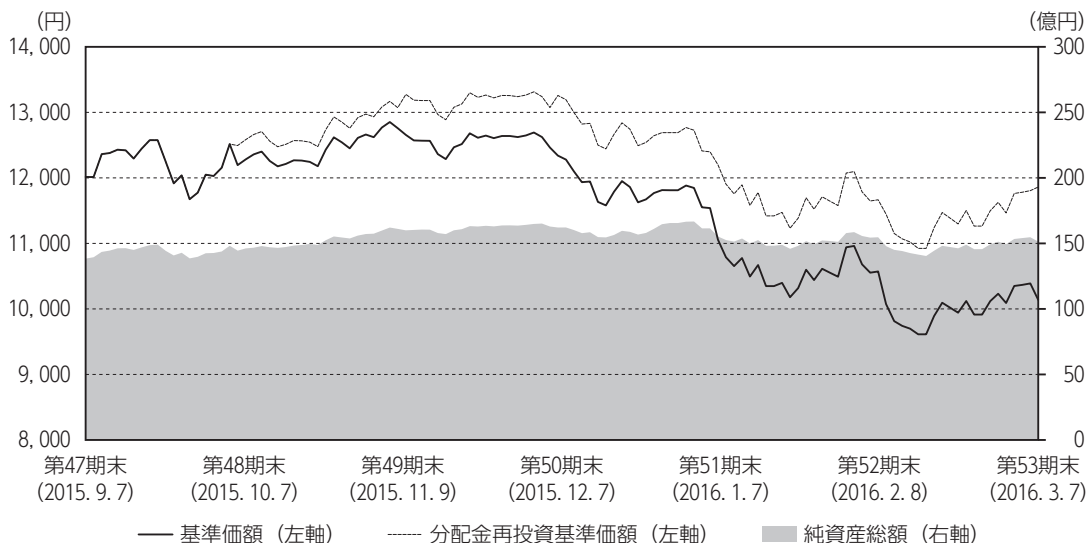
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第48期首：12,014円

第53期末：10,138円 (既払分配金1,800円)

騰落率：△1.3% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことはプラスに寄与しましたが、米ドルが対円で下落したことからオプション取引がマイナス要因となり、値下がりしました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第48期	(期首) 2015年 9月 7日	12,014	—	25,546	—	0.0	98.1
	9月末	11,775	△ 2.0	25,239	△ 1.2	0.0	98.1
	(期末) 2015年10月 7日	12,494	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6
第49期	(期首) 2015年10月 7日	12,194	—	26,600	—	0.0	98.6
	10月末	12,662	3.8	28,209	6.0	0.0	98.6
	(期末) 2015年11月 9日	12,957	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7
第50期	(期首) 2015年11月 9日	12,657	—	28,906	—	0.0	98.7
	11月末	12,624	△ 0.3	28,667	△ 0.8	0.0	98.5
	(期末) 2015年12月 7日	12,641	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7
第51期	(期首) 2015年12月 7日	12,341	—	28,787	—	0.0	97.7
	12月末	11,884	△ 3.7	27,993	△ 2.8	0.0	98.9
	(期末) 2016年 1月 7日	11,355	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2
第52期	(期首) 2016年 1月 7日	11,055	—	26,368	—	0.0	98.2
	1月末	10,492	△ 5.1	25,556	△ 3.1	0.0	98.2
	(期末) 2016年 2月 8日	10,373	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2
第53期	(期首) 2016年 2月 8日	10,073	—	24,568	—	0.0	98.2
	2月末	10,231	1.6	24,717	0.6	0.0	98.7
	(期末) 2016年 3月 7日	10,438	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第48期首より上昇して始まり、2015年10月に発表されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げに対する消極的な姿勢を示すものと受け止められたことなどから、さらに上昇しました。11月から12月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、2016年1月に入ると、中国景気に対する懸念や原油価格の急落を受けて下落しました。2月中旬から第53期末にかけては、原油産出4カ国の生産量維持の合意による原油価格の反発や、米国の景気に対する懸念が弱まったことなどを背景に上昇しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。当作成期間の前半は、2015年11月上旬に米国の雇用統計において市場の予想を大きく上回る結果が示されたことなどから、米ドルの対円レートは上昇しました。12月に入り、OPEC（石油輸出国機構）会合で生産量の調整が見送られたことなどを背景に原油をはじめとする商品相場が下落すると、投資家心理が悪化しリスク回避の円買いが進みました。2016年2月には、原油価格が下げ幅を広げ世界的な景気減速懸念が強まったほか、欧州で銀行の信用リスクが高まったことなどを背景に、市場でリスク回避傾向が強まり米ドルの対円レートも下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

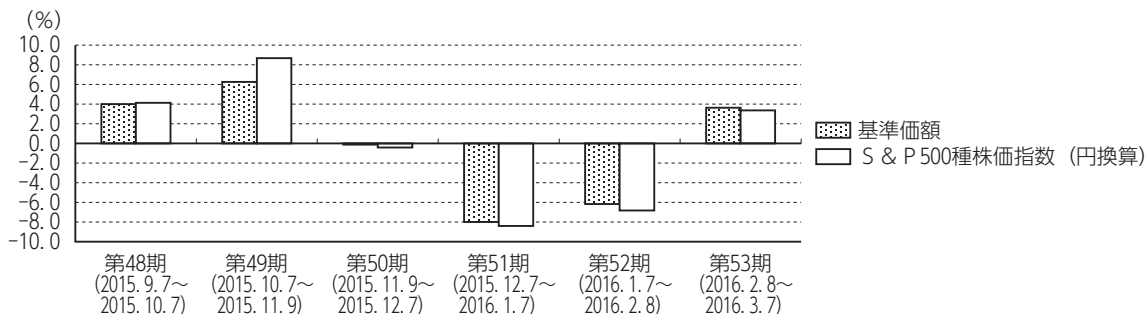
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第48期から第53期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ300円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2015年9月8日 ～2015年10月7日	2015年10月8日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月7日	2015年12月8日 ～2016年1月7日	2016年1月8日 ～2016年2月8日	2016年2月9日 ～2016年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	300	300	300	300	300	300
対基準価額比率（%）	2.40	2.32	2.37	2.64	2.89	2.87
当期の収益（円）	96	91	81	81	75	76
当期の収益以外（円）	203	208	218	218	224	223
翌期繰越分配対象額（円）	5,867	5,663	5,447	5,233	5,013	4,791

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	96.59円	91.33円	81.55円	81.05円	75.64円	76.86円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	6,071.08	5,872.02	5,665.98	5,452.54	5,237.48	5,015.03
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,167.68	5,963.35	5,747.53	5,533.59	5,313.13	5,091.90
(f) 分配金	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,867.68	5,663.35	5,447.53	5,233.59	5,013.13	4,791.90

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第48期～第53期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 8～2016. 3. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	76円	0. 658%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 592円です。
（投信会社）	(25)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(50)	(0. 430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	77	0. 661	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－米ドル・コース（毎月分配型）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

決算期	第 48 期 ～ 第 53 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	28,144,395	3,967,376	12,002,692	1,670,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

買 付	第 48 期			平均単価	銘 柄	第 53 期		
	口 数	金 額	円			口 数	金 額	円
		千円	円				千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	22,704.3	3,220,000	141	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	12,002.692	1,670,000	139	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第48期～第53期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第48期～第53期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

区 分	第 48 期 ～ 第 53 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 87,514	百万円 10,100	% 11.5	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,521,369	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 53 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	113,706.351	14,922,707	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月7日現在

項 目	第 53 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,922,707	95.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	686,634	4.4
投資信託財産総額	15,609,355	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第47期末	第 53 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月7日)、(2015年11月9日)、(2015年12月7日)、(2016年1月7日)、(2016年2月8日)、(2016年3月7日) 現在

項 目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
(A) 資産	14,898,963,540円	16,409,091,771円	16,673,371,881円	16,127,047,197円	15,287,960,894円	15,609,355,358円
コール・ローン等	652,792,702	612,202,612	828,704,825	884,651,656	764,416,355	686,634,399
投資信託受益証券 (評価額)	14,246,157,803	15,796,876,124	15,844,654,019	15,242,382,504	14,523,531,501	14,922,707,922
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,035	13,035	13,037	13,037	13,038	13,037
(B) 負債	450,337,230	411,633,267	460,073,232	601,298,741	503,543,105	472,343,444
未払収益分配金	355,455,239	379,181,638	394,139,401	421,312,222	440,329,192	447,929,605
未払解約金	79,110,417	14,081,733	49,231,139	161,490,175	45,109,407	8,860,887
未払信託報酬	15,675,615	18,162,750	16,395,180	18,078,163	17,578,716	14,935,729
その他未払費用	95,959	207,146	307,512	418,181	525,790	617,223
(C) 純資産総額 (A - B)	14,448,626,310	15,997,458,504	16,213,298,649	15,525,748,456	14,784,417,789	15,137,011,914
元本	11,848,507,984	12,639,387,937	13,137,980,062	14,043,740,766	14,677,639,765	14,930,986,836
次期繰越損益金	2,600,118,326	3,358,070,567	3,075,318,587	1,482,007,690	106,778,024	206,025,078
(D) 受益権総口数	11,848,507,984口	12,639,387,937口	13,137,980,062口	14,043,740,766口	14,677,639,765口	14,930,986,836口
1万口当り基準価額 (C/D)	12,194円	12,657円	12,341円	11,055円	10,073円	10,138円

*第47期末における元本額は11,518,977,808円、当作成期間 (第48期～第53期) 中における追加設定元本額は5,713,092,244円、同解約元本額は2,301,083,216円です。

*第53期末の計算口数当りの純資産額は10,138円です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－米ドル・コース（毎月分配型）

■損益の状況

第48期 自 2015年9月8日 至 2015年10月7日 第50期 自 2015年11月10日 至 2015年12月7日 第52期 自 2016年1月8日 至 2016年2月8日
 第49期 自 2015年10月8日 至 2015年11月9日 第51期 自 2015年12月8日 至 2016年1月7日 第53期 自 2016年2月9日 至 2016年3月7日

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(A) 配当等収益	117,717,955円	117,678,237円	123,638,015円	132,016,106円	128,721,909円	117,908,741円
受取配当金	117,700,597	117,659,026	123,618,369	131,992,489	128,699,594	117,902,551
受取利息	17,358	19,211	19,646	23,617	22,315	6,190
(B) 有価証券売買損益	451,351,115	841,473,630	△ 122,552,443	△ 1,427,732,017	△ 1,071,887,542	446,651,663
売買益	459,327,108	842,556,667	3,209,217	25,559,780	26,195,079	444,129,532
売買損	△ 7,975,993	△ 1,083,037	△ 125,761,660	△ 1,453,291,797	△ 1,098,082,621	2,522,131
(C) 信託報酬等	△ 15,771,574	△ 18,273,937	△ 16,495,546	△ 18,188,832	△ 17,686,325	△ 15,027,162
(D) 当期損益金 (A + B + C)	553,297,496	940,877,930	△ 15,409,974	△ 1,313,904,743	△ 960,851,958	549,533,242
(E) 前期繰越損益金	△ 3,006,212,145	△ 2,530,917,224	△ 1,670,736,997	△ 1,733,491,540	△ 3,068,886,675	△ 3,988,053,397
(F) 追加信託差損益金	5,408,488,214	5,327,291,499	5,155,604,959	4,950,716,195	4,576,845,849	4,092,474,838
(配当等相当額)	(7,193,331,356)	(7,421,874,230)	(7,443,960,608)	(7,657,414,961)	(7,687,391,888)	(7,487,949,215)
(売買損益相当額)	(△ 1,784,843,142)	(△ 2,094,582,731)	(△ 2,288,355,649)	(△ 2,706,698,766)	(△ 3,110,546,039)	(△ 3,395,474,377)
(G) 合計 (D + E + F)	2,955,573,565	3,737,252,205	3,469,457,988	1,903,319,912	547,107,216	653,954,683
(H) 収益分配金	△ 355,455,239	△ 379,181,638	△ 394,139,401	△ 421,312,222	△ 440,329,192	△ 447,929,605
次期繰越損益金 (G + H)	2,600,118,326	3,358,070,567	3,075,318,587	1,482,007,690	106,778,024	206,025,078
追加信託差損益金	5,167,487,791	5,063,545,886	4,868,608,027	4,643,231,247	4,247,552,241	3,759,314,800
(配当等相当額)	(6,952,330,933)	(7,158,128,617)	(7,156,963,676)	(7,349,930,013)	(7,358,098,280)	(7,154,789,177)
(売買損益相当額)	(△ 1,784,843,142)	(△ 2,094,582,731)	(△ 2,288,355,649)	(△ 2,706,698,766)	(△ 3,110,546,039)	(△ 3,395,474,377)
繰越損益金	△ 2,567,369,465	△ 1,705,475,319	△ 1,793,289,440	△ 3,161,223,557	△ 4,140,774,217	△ 3,553,289,722

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
(a) 経費控除後の配当等収益	114,454,816円	115,436,025円	107,142,469円	113,827,274円	111,035,584円	114,769,567円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,193,331,356	7,421,874,230	7,443,960,608	7,657,414,961	7,687,391,888	7,487,949,215
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	7,307,786,172	7,537,310,255	7,551,103,077	7,771,242,235	7,798,427,472	7,602,718,782
(f) 分配金	355,455,239	379,181,638	394,139,401	421,312,222	440,329,192	447,929,605
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,952,330,933	7,158,128,617	7,156,963,676	7,349,930,013	7,358,098,280	7,154,789,177
(h) 受益権総口数	11,848,507,984口	12,639,387,937口	13,137,980,062口	14,043,740,766口	14,677,639,765口	14,930,986,836口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	300円	300円	300円	300円	300円	300円
（単 価）	(12, 194円)	(12, 657円)	(12, 341円)	(11, 055円)	(10, 073円)	(10, 138円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2013年10月7日)	9,284	100	2.4	10,218	2.1	0.0	98.7	350
5期末(2013年11月7日)	9,453	100	2.9	10,702	4.7	0.0	98.9	999
6期末(2013年12月9日)	9,964	100	6.5	10,911	2.0	0.0	99.0	614
7期末(2014年1月7日)	9,898	100	0.3	11,042	1.2	0.0	98.9	904
8期末(2014年2月7日)	9,136	100	△ 6.7	10,719	△ 2.9	0.0	98.9	904
9期末(2014年3月7日)	9,687	100	7.1	11,346	5.8	0.0	99.3	1,004
10期末(2014年4月7日)	10,113	100	5.4	11,273	△ 0.6	0.0	98.9	993
11期末(2014年5月7日)	10,021	100	0.1	11,289	0.1	0.0	98.7	1,038
12期末(2014年6月9日)	10,385	100	4.6	11,783	4.4	0.0	98.9	1,163
13期末(2014年7月7日)	10,358	100	0.7	12,001	1.8	0.0	98.4	1,127
14期末(2014年8月7日)	9,785	100	△ 4.6	11,607	△ 3.3	0.0	98.9	1,061
15期末(2014年9月8日)	10,377	100	7.1	12,136	4.6	0.0	98.8	1,131
16期末(2014年10月7日)	9,715	100	△ 5.4	11,876	△ 2.1	0.0	99.0	830
17期末(2014年11月7日)	9,863	100	2.6	12,278	3.4	0.0	98.8	928
18期末(2014年12月8日)	10,060	100	3.0	12,544	2.2	0.0	98.9	929
19期末(2015年1月7日)	8,948	100	△ 10.1	12,105	△ 3.5	0.0	98.4	843
20期末(2015年2月9日)	8,877	100	0.3	12,424	2.6	0.0	98.9	839
21期末(2015年3月9日)	8,569	100	△ 2.3	12,520	0.8	0.0	98.6	834
22期末(2015年4月7日)	8,336	100	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8	805
23期末(2015年5月7日)	8,566	100	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8	843
24期末(2015年6月8日)	8,505	100	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9	819
25期末(2015年7月7日)	7,941	100	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3	755
26期末(2015年8月7日)	7,415	100	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8	602
27期末(2015年9月7日)	6,063	100	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0	473
28期末(2015年10月7日)	6,336	100	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7	501
29期末(2015年11月9日)	6,677	100	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9	531
30期末(2015年12月7日)	6,550	100	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8	491
31期末(2016年1月7日)	5,665	100	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9	438
32期末(2016年2月8日)	5,242	100	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8	399
33期末(2016年3月7日)	5,475	100	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0	407

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

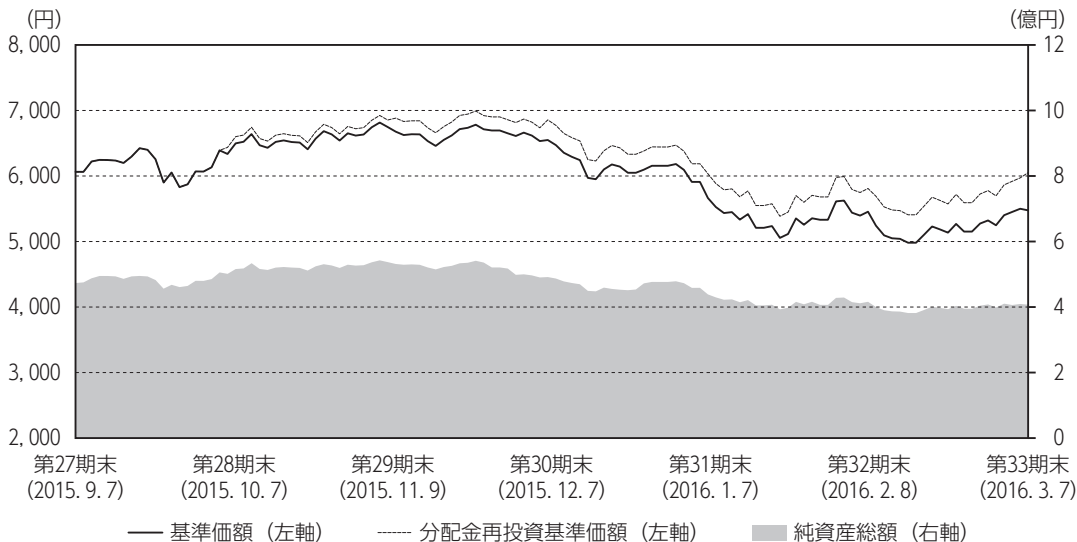
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第28期首：6,063円

第33期末：5,475円（既払分配金600円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）がほぼ横ばいとなったことから、基準価額は若干ながら下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせ合わせたカバーコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、選定通貨が対円で下落したこととオプション取引がマイナス要因となり、ほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第28期	(期首) 2015年 9月 7日	円 6,063	% —	11,613	% —	% 0.0	% 98.0
	9月末	5,874	△ 3.1	11,388	△ 1.9	0.0	99.1
	(期末) 2015年10月 7日	6,436	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7
第29期	(期首) 2015年10月 7日	6,336	—	11,968	—	0.0	98.7
	10月末	6,617	4.4	12,629	5.5	0.0	99.3
	(期末) 2015年11月 9日	6,777	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9
第30期	(期首) 2015年11月 9日	6,677	—	12,689	—	0.0	98.9
	11月末	6,652	△ 0.4	12,634	△ 0.4	0.0	98.7
	(期末) 2015年12月 7日	6,650	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8
第31期	(期首) 2015年12月 7日	6,550	—	12,643	—	0.0	98.8
	12月末	6,182	△ 5.6	12,563	△ 0.6	0.0	98.6
	(期末) 2016年 1月 7日	5,765	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9
第32期	(期首) 2016年 1月 7日	5,665	—	12,030	—	0.0	98.9
	1月末	5,332	△ 5.9	11,444	△ 4.9	0.0	99.1
	(期末) 2016年 2月 8日	5,342	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8
第33期	(期首) 2016年 2月 8日	5,242	—	11,364	—	0.0	98.8
	2月末	5,321	1.5	11,775	3.6	0.0	98.4
	(期末) 2016年 3月 7日	5,575	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。米国株式市況は、第28期首より上昇して始まり、2015年10月に発表されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）議事録がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げに対する消極的な姿勢を示すものと受け止められたことなどから、さらに上昇しました。11月から12月にかけては、比較的狭いレンジ内での推移となりましたが、2016年1月に入ると、中国景気に対する懸念や原油価格の急落を受けて下落しました。2月中旬から第33期末にかけては、原油産出4カ国の生産量維持の合意による原油価格の反発や、米国の景気に対する懸念が弱まったことなどを背景に上昇しました。

○為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落しました。第28期首から2015年10月末にかけては、米国の利上げ観測が後退し、金融緩和環境が維持されるとの期待から、資源国通貨や新興国通貨が買い戻され、選定通貨も堅調に推移しました。11月は各国個別の要因を背景に、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりましたが、12月以降は、世界的な株価の下落や原油安などから市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円で下落しました。しかし2016年2月半ばに入ると、株価や原油価格が持ち直し市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、選定通貨も上昇する動きとなりました。当作成期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、チリ・ペソ、中国元は対円で下落しました。一方、インドネシア・ルピアは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピア、チリ・ペソ、中国元を選定通貨としました。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では2015年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0～0.25%から0.25～0.50%に引き上げました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (GICS) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。また、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、

割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

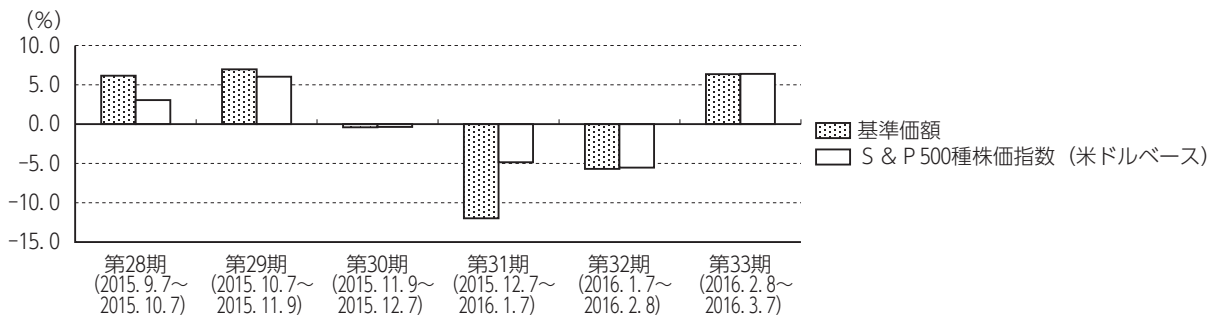
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第28期から第33期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2015年9月8日 ～2015年10月7日	2015年10月8日 ～2015年11月9日	2015年11月10日 ～2015年12月7日	2015年12月8日 ～2016年1月7日	2016年1月8日 ～2016年2月8日	2016年2月9日 ～2016年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.55	1.48	1.50	1.73	1.87	1.79
当期の収益（円）	100	100	100	91	83	84
当期の収益以外（円）	—	—	—	8	16	15
翌期繰越分配対象額（円）	1,354	1,355	1,367	1,363	1,347	1,331

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
(a) 経費控除後の配当等収益	100.43円	100.41円	111.99円	91.19円	83.52円	84.14円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	831.60	841.63	847.28	886.40	888.61	891.14
(d) 分配準備積立金	522.50	513.20	508.18	486.08	475.11	456.15
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,454.55	1,455.25	1,467.45	1,463.69	1,447.25	1,431.45
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,354.55	1,355.25	1,367.45	1,363.69	1,347.25	1,331.45

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いません。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第28期～第33期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 8～2016. 3. 7)		
	金 額	比 率	
信託報酬	39円	0. 657%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 011円です。
(投信会社)	(13)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(26)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0. 660	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

決算期	第 28 期 ～ 第 33 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,721.869	92,985	2,042.188	112,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 28 期			第 33 期			
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円	千口	千円	円	
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	842.528	46,000	54	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	2,042.188	112,000	54

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第28期～第33期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第28期～第33期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

区 分	第 28 期 ～ 第 33 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	87,514	10,100	11.5	11,349	—	—
コール・ローン	2,521,369	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 33 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	8,112.473	403,246	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月7日現在

項 目	第 33 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	403,246	95.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	20,163	4.8
投資信託財産総額	423,510	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 33 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月7日)、(2015年11月9日)、(2015年12月7日)、(2016年1月7日)、(2016年2月8日)、(2016年3月7日) 現在

項 目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
(A) 資産	509,724,709円	539,990,300円	499,480,477円	447,826,640円	407,853,578円	423,510,329円
コール・ローン等	14,851,244	14,354,033	13,646,145	14,255,422	12,921,678	20,163,478
投資信託受益証券 (評価額)	494,773,357	525,536,159	485,734,215	433,471,101	394,831,773	403,246,734
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	100,108	100,108	100,117	100,117	100,127	100,117
(B) 負債	8,438,943	8,590,195	8,039,877	9,355,571	8,121,895	16,183,212
未払収益分配金	7,911,741	7,958,225	7,503,318	7,740,154	7,625,583	7,440,071
未払解約金	—	—	—	1,077,701	—	8,322,482
未払信託報酬	524,008	624,965	526,343	524,309	479,981	401,882
その他未払費用	3,194	7,005	10,216	13,407	16,331	18,777
(C) 純資産総額 (A - B)	501,285,766	531,400,105	491,440,600	438,471,069	399,731,683	407,327,117
元本	791,174,195	795,822,554	750,331,858	774,015,495	762,558,379	744,007,110
次期繰越損益金	△ 289,888,429	△ 264,422,449	△ 258,891,258	△ 335,544,426	△ 362,826,696	△ 336,679,993
(D) 受益権総口数	791,174,195□	795,822,554□	750,331,858□	774,015,495□	762,558,379□	744,007,110□
1万口当り基準価額 (C/D)	6,336円	6,677円	6,550円	5,665円	5,242円	5,475円

* 第27期末における元本額は780,484,908円、当作成期間 (第28期～第33期) 中における追加設定元本額は137,829,963円、同解約元本額は174,307,761円です。

* 第33期末の計算口数当りの純資産額は5,475円です。

* 第33期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は336,679,993円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第28期 自 2015年9月8日 至 2015年10月7日 第30期 自 2015年11月10日 至 2015年12月7日 第32期 自 2016年1月8日 至 2016年2月8日
 第29期 自 2015年10月8日 至 2015年11月9日 第31期 自 2015年12月8日 至 2016年1月7日 第33期 自 2016年2月9日 至 2016年3月7日

項 目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
(A) 配当等収益	8,092,104円	8,135,318円	8,932,637円	7,586,430円	6,852,166円	6,362,976円
受取配当金	8,091,535	8,134,939	8,932,188	7,585,778	6,851,772	6,362,882
受取利息	569	379	449	652	394	94
(B) 有価証券売買損益	21,210,650	27,383,940	△ 10,501,018	△ 65,483,910	△ 30,974,614	18,803,282
売買益	22,105,811	27,584,262	606,315	1,380,119	597,260	18,869,651
売買損	△ 895,161	△ 200,322	△ 11,107,333	△ 66,864,029	△ 31,571,874	△ 66,369
(C) 信託報酬等	△ 527,202	△ 628,776	△ 529,554	△ 527,500	△ 482,905	△ 404,328
(D) 当期損益金 (A + B + C)	28,775,552	34,890,482	△ 2,097,935	△ 58,424,980	△ 24,605,353	24,761,930
(E) 前期繰越損益金	△ 255,900,145	△ 232,012,103	△ 191,312,041	△ 193,672,759	△ 254,825,730	△ 278,558,159
(F) 追加信託差損益金	△ 54,852,095	△ 59,342,603	△ 57,977,964	△ 75,706,533	△ 75,770,030	△ 75,443,693
(配当等相当額)	(65,794,770)	(66,978,909)	(63,574,145)	(68,609,190)	(67,762,432)	(66,301,979)
(売買損益相当額)	(△ 120,646,865)	(△ 126,321,512)	(△ 121,552,109)	(△ 144,315,723)	(△ 143,532,462)	(△ 141,745,672)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 281,976,688	△ 256,464,224	△ 251,387,940	△ 327,804,272	△ 355,201,113	△ 329,239,922
(H) 収益分配金	△ 7,911,741	△ 7,958,225	△ 7,503,318	△ 7,740,154	△ 7,625,583	△ 7,440,071
次期繰越損益金 (G + H)	△ 289,888,429	△ 264,422,449	△ 258,891,258	△ 335,544,426	△ 362,826,696	△ 336,679,993
追加信託差損益金	△ 54,852,095	△ 59,342,603	△ 57,977,964	△ 75,706,533	△ 75,770,030	△ 75,443,693
(配当等相当額)	(65,794,770)	(66,978,909)	(63,574,145)	(68,609,190)	(67,762,432)	(66,301,979)
(売買損益相当額)	(△ 120,646,865)	(△ 126,321,512)	(△ 121,552,109)	(△ 144,315,723)	(△ 143,532,462)	(△ 141,745,672)
分配準備積立金	41,374,210	40,874,947	39,030,617	36,942,804	34,973,871	32,759,138
繰越損益金	△ 276,410,544	△ 245,954,793	△ 239,943,911	△ 296,780,697	△ 322,030,537	△ 293,995,438

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,946,491円	7,991,328円	8,403,083円	7,058,930円	6,369,261円	6,260,762円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	65,794,770	66,978,909	63,574,145	68,609,190	67,762,432	66,301,979
(d) 分配準備積立金	41,339,460	40,841,844	38,130,852	37,624,028	36,230,193	33,938,447
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	115,080,721	115,812,081	110,108,080	113,292,148	110,361,886	106,501,188
(f) 分配金	7,911,741	7,958,225	7,503,318	7,740,154	7,625,583	7,440,071
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	107,168,980	107,853,856	102,604,762	105,551,994	102,736,303	99,061,117
(h) 受益権総口数	791,174,195口	795,822,554口	750,331,858口	774,015,495口	762,558,379口	744,007,110口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
(単 価)	(6, 336円)	(6, 677円)	(6, 550円)	(5, 665円)	(5, 242円)	(5, 475円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年3月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
2015年2月28日

資産	
有価証券の公正価値（費用345,930,095,717円）	¥ 349,060,558,551
現金および現金等価物	1,729,221,526
スワップ契約による評価益	1,042,330,049
その他資産	4,863,504
資産合計	<u>351,836,973,630</u>
負債	
スワップ契約による評価損	84,035,672
未払：	
スワップ契約終了による未払金	28,896,398,902
有価証券の購入による未払金	1,633,463,703
管理会社報酬	69,859,125
投資運用会社報酬	24,145,196
名義書き換え代理報酬	15,085,652
設立費用	6,496,199
専門家報酬	6,083,956
通貨投資アドバイザー報酬	318,297
受託会社報酬	195,774
負債合計	<u>30,736,082,476</u>
純資産	<u>¥ 321,100,891,154</u>
豪ドル・クラス	¥ 15,013,756,303
ブラジル・レアル・クラス	292,646,226,250
日本円・クラス	2,460,208,476
通貨セレクト・クラス	869,687,241
米ドル・クラス	10,111,012,884
	<u>¥ 321,100,891,154</u>

発行済み受益証券数

豪ドル・クラス	115,765,186
ブラジル・リアル・クラス	3,051,696,713
日本円・クラス	23,246,739
通貨セレクト・クラス	10,531,507
米ドル・クラス	59,495,528

1口当たりの純資産

豪ドル・クラス	¥	129.69
ブラジル・リアル・クラス	¥	95.90
日本円・クラス	¥	105.83
通貨セレクト・クラス	¥	82.58
米ドル・クラス	¥	169.95

損益計算書

2015年2月28日に終了した年度

収益

その他収益	¥	5,030,927
収益合計		<u>5,030,927</u>

費用

投資運用会社報酬	287,367,249
管理会社報酬	132,304,372
名義書き換え代理報酬	29,147,708
専門家報酬	13,625,991
通貨投資アドバイザー報酬	1,438,405
受託会社報酬	1,361,317
その他費用	3,864,360
費用合計	<u>469,109,402</u>

純投資損失

(464,078,475)

実現益 (実現損) と評価益 (評価損) :

実現益 (実現損) の内訳 :

有価証券への投資	63,844,457,174
スワップ契約	(41,837,109,823)
外国為替換算および為替先渡契約	102,824,638
純実現益	<u>22,110,171,989</u>

評価益 (評価損) の純変動の内訳 :

有価証券への投資	2,507,195,339
スワップ契約	250,344,890
外国為替換算	(1,814,123)
評価益の純変動	<u>2,755,726,106</u>

純実現益および純評価益

24,865,898,095

業務活動の結果生じた純資産の純増

¥ 24,401,819,620

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズー

当ファンド (ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズー) はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。
(注) 2016年3月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(日本円建て)

投資明細表
2015年2月28日

受益証券数	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
	ストラクチャード商品 (108.71%)		
27,572,996	CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ		¥ 349,060,558,551
	ストラクチャード商品計 (費用 345,930,095,717円)		349,060,558,551
	投資計 (個別原価 345,930,095,717円)	108.71%	¥ 349,060,558,551

*当ファンドは Deutsche Bank A.G., London Branch に十分な資金規模を持つパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index に概念的なエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
AUD	Deutsche Bank A.G.	164,283,914	2015年3月31日	USD	(129,393,296)	¥ (63,966,091)	(0.02%)

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
BRL	Deutsche Bank A.G.	7,037,783,516	2015年3月31日	USD	(2,432,457,136)	¥ 1,040,756,387	0.32%

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
JPY	Deutsche Bank A.G.	2,499,948,905	2015年3月31日	USD	(21,045,148)	¥ (14,499,491)	(0.00%)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル・リターンズ-

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合 (%)
AUD	Deutsche Bank A. G.	1,230,221	2015年3月31日	USD	(969,097)	¥ (894,416)	(0.00%)
BRL	Deutsche Bank A. G.	3,853,461	2015年3月31日	USD	(1,328,022)	1,029,282	0.00%
INR	Deutsche Bank A. G.	82,934,906	2015年3月31日	USD	(1,335,200)	25,046	0.00%
NZD	Deutsche Bank A. G.	1,403,724	2015年3月31日	USD	(1,055,239)	519,334	0.00%
TRY	Deutsche Bank A. G.	3,306,619	2015年3月31日	USD	(1,320,843)	(2,012,216)	(0.00%)
ZAR	Deutsche Bank A. G.	13,434,546	2015年3月31日	USD	(1,170,095)	(2,663,458)	(0.00%)
合計						¥ (3,996,428)	(0.00%)

用語集：

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・レアル
INR	インド・ルピー
JPY	日本円
NZD	ニュージーランド・ドル
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル
ZAR	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2016年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を66ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年9月8日から2016年3月7日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
550 国庫短期証券 2015/11/9	7,009,995	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,000	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
573 国庫短期証券 2016/3/7	5,800,988		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
548 国庫短期証券 2015/11/2	5,399,995		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
576 国庫短期証券 2016/3/22	3,000,288		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（27,780,153千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年3月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 8,000,000	千円 8,000,080	% 28.2	% —	% —	% —	% 28.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年3月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	574 国庫短期証券	—	千円 3,000,000	千円 3,000,014	2016/03/14	
	576 国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,043	2016/03/22	
	578 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,022	2016/03/28	
合 計	銘 柄 数	3銘柄				
	金 額		8,000,000	8,000,080		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A - 2 格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

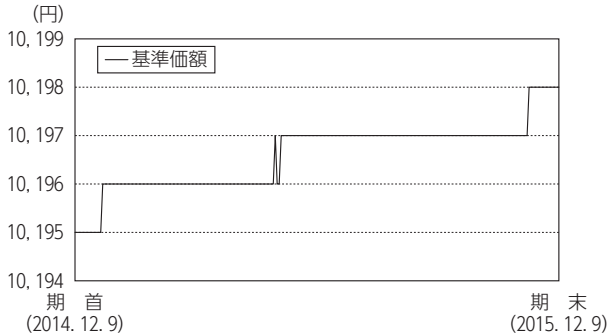
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末) 2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	国債証券	千円 120,653,910	千円 (92,494,000)
国内	国債証券		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期 区 分	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	55.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	年利率	当 期		末	
			額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10	
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07	
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15	
100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20		
合計	銘柄数 金額	11銘柄	43,554,000	43,559,849		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	43,559,849	55.2
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8
投資信託財産総額	78,892,178	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	78,892,178,168円
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債(評価額)	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	78,892,178,168
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
(D) 受益権総口数	77,361,886,547口
1万口当り基準価額(C/D)	10,198円

*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資本金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/RIC I (R) コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用) スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、プル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマーシングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスIIー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き) 為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型) 通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) トリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,433,273円
受取利息	10,433,273
(B) 有価証券売買損益	△ 362,189
売買益	43,331
売買損	△ 405,520
(C) 当期損益金(A+B)	10,071,084
(D) 前期繰越損益金	491,354,312
(E) 解約差損益金	△ 1,446,302,032
(F) 追加信託差損益金	2,475,168,257
(G) 合計(C+D+E+F)	1,530,291,621
次期繰越損益金(G)	1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。